

# 上野自治会農業活性化プロジェクトの紹介



滋賀県米原市、伊吹山の麓に位置する上野集落は、豊かな自然と古来の伝統文化を今も大切に守り続けています。地域内にある伊吹山登山口の近くには三之宮神社があり、県選択無形民俗文化財の「伊吹山奉納太鼓踊」が現在も受け継がれています。さらに、「興津家長屋門」など、米原市の文化財に指定された建造物もあり、風情ある町並みを今も残しています。



## 上野集落の新たな挑戦

そんな上野集落は、年間30回を超える農地保全活動や獣害柵の点検を行うなど、地域の環境整備にも力を注いでいます。また、虫の観察を行うなど、自然環境の保全にも関心が高い地域です。さらに、令和6年2月には地域住民22人が「上野自治会農業活性化プロジェクト（以下、プロジェクト）」を始動。地域を走る農免道路沿いのほ場法面を整備し、景観美化のためにシバザクラの植え付けを行うことになりました。

ほ場法面の整備に用いるのは、令和5年の豪雨により崩落し、堆積した伊吹山の土砂です。伊吹山は現在、土砂崩れにより入山が禁止されています。処分に困る土砂の有効活用を図るとともに、美しい花を咲かせるシバザクラを植え付けることで地域への来訪者を増やし、「いつの日か復旧した登山道にもたくさんの方が訪れてほしい」という地域住民の願いが込められています。

「いろんな植物を検討しましたが、シバザクラは管理がしやすく、見た目もきれいなのでこの花を選びました。」と語るのは、プロジェクトの代表・瀧澤淳さん。毎年200株ずつシバザクラを植え付け、200mほどの道路沿いの法面を花でいっぱいにする計画です。シバザクラの花の見頃はゴールデンウィーク前後で、明るいピンクの花が訪れる人々の心を和ませ、地域の魅力向上につながることを期待されます。

このように地域の景観美化に取り組む「上野自治会農業活性化プロジェクト」は、「しがのふるさと支え合いプロジェクト」により協働活動に取り組んでいただける企業を募集しています。シバザクラの苗や植付に必要な資材を提供いただくなど、活動を支援いただける企業等と連携することで、地域住民と来訪者が共に楽しめる場が生まれ、活動がさらなる盛り上がりを見ることが期待されます。上野集落と共に、美しいシバザクラの花が咲く景観づくりに取り組んでいただける企業の皆様のお力添えをお待ちしております。

## シバザクラの絨毯(じゅうたん)を 共につくる企業を募集



「上野自治会農業活性化プロジェクト」

高橋 兵助 氏

清水 利次 氏

瀧澤 淳 氏

堀江 静夫 氏

お問い合わせ先

滋賀県農政水産部農村振興課 地域資源活用推進室

〒520-8577 滋賀県大津市京町4丁目1番1号  
TEL : 077-528-3963

詳しくはこちら





参加企業等  
大募集!!

## 中山間地域をみらいへつなぐ活動に参加しませんか？

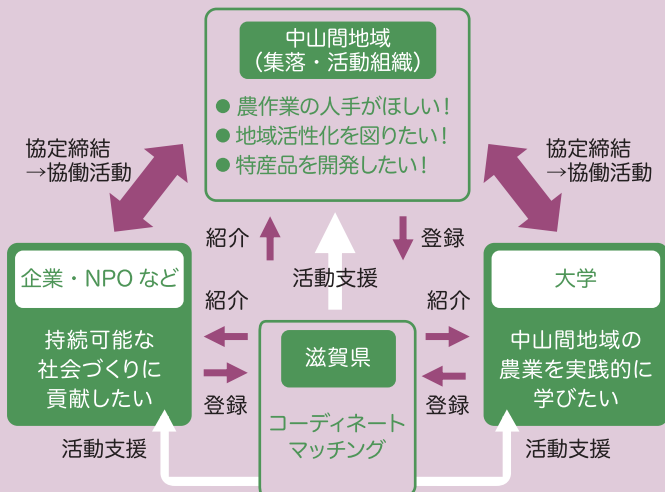


2030年に向けて  
世界が合意した  
「持続可能な開発目標」です

### 未来へつなぐバトン

「中山間地域」とは、山間地とその周辺の地域を言います。滋賀県では県土の約 65%がこのような地域です。「中山間地域」の農村は食糧生産の場であるだけでなく、雨水を一時的にたくわえて、洪水や土砂崩れを防いたり、たくさんの生き物を育んだりします。また、美しい風景は私たちの心を和ませてくれます。近年、「中山間地域」では人口減少や高齢化の進行により農業の担い手が不足し、荒廃農地が増加する傾向にあります。住民の力だけでは地域の農業・農村を維持するのが困難になってきています。都市部に住む人々にも、多くの恵みをもたらす「中山間地域」をみんなで守っていきませんか？「しがのふるさと支え合いプロジェクト」を通して、都市と農村の交流の輪を広げ、大切な恵みを未来へつないでいきましょう！

#### プロジェクトのイメージ



#### 【しがのふるさと支え合いプロジェクト】事業紹介

「しがのふるさと支え合いプロジェクト」とは、中山間地域の活性化を目的に、地域の集落等と企業や大学、NPO法人等の皆さんが協働し、農作業や棚田の保全活動、都市農村交流活動などを行っていただく取組です。県では、協働活動のコーディネータや、相手先とのマッチング、協定を締結し協働活動を行う団体への支援を行っています。上野自治会農業活性化プロジェクトは、2023年度に県の「しがのふるさと支え合いプロジェクト」に登録し、地域活性化に向けた協定を締結して、協働活動に協力していただける企業等を募集しています。

詳しくは  
こちら

